

QCサークル代表発表会

KF4、優勝返り咲き

川崎陸送

川崎陸送(樋口恵一社長、東京都港区)は6月26日、「QCサークル代表発表会」を開いた。前々回に初優勝を果たし、今回は3位だった葛西流通センター(江戸川区)のパートタイマーで結成するサークル「KF4」が、優勝に返り咲いた。樋口社長は表彰式で「一番ストリートで、愚直にQCの手法に沿った取り組みだった」と祝辞を述べた。発表会には、本社と各事業部の予選を通過した10サークルが出席。「カイゼン」

の本家である豊田自動織機AL事業部営業企画部コンサル室第2グループの河野泉グループ長、改善提案制度を導入しているNTSロジ(笠原昭久社長、東久留米市)の笠原史久取締役などゲストが見守る中で、燃費向上、現場改善、出荷製品の表示方法の見直しといった取り組みを発表した。優勝したKF4は、メンバーのパートタイマーを中心に葛西流通センターで輸入菓子の流通加工を手掛けしており、作業日数の短縮生

産性と差益率の向上をテーマに掲げ、「単価の高い商品を1日当たり少しでも多く作業し、売りに貢献すること」を目指した。攪



優勝したKF4のメンバーと樋口社長(左端)

拌(かくはん)台の高さや人員配置図を変更した結果、コストダウンと収益増の目標を達成できた。

なお、第2位は、出荷作業のロスタイム削減に取り組んだ「BF4」(関東営業所)、第3位は燃費のさらなる向上をテーマとした「やる気ある会」(鳥栖営業所)が受賞。

講評で、豊田自動織機の河野氏は「現状の把握にもう少し力を入れたら、違った問題が見えてくるのでは」とアドバイス。NTSロジの笠原氏は「改善提案は自分で考えながら仕事をしてもらうのが狙い。『あ

りがとつ』シールの活用で社員の感謝力を高め、チームワークに生かしている」と自社の取り組みを紹介した。

(石井 麻里)